

■女性が創る観光のまち推進事業

【商工費】(継続) 62万円
(商工観光部 観光振興課)

新たな観光のまちづくりを推進するため、旅館・民宿業の女将(おかみ)さんが中心となり、懇談会、研修会や先進地の視察、近隣市の女将さんと連携した広域活動や京阪神でのPR活動を行うとともに、誘客に役立てる市内散策マップの作成などを支援します。



「冬の魅力キャンペーン」で京丹後市をPR

■観光振興計画推進事業

【商工費】(新規) 20万円
(商工観光部 観光振興課)

観光立市の実現をめざし、「京丹後市観光振興計画」の実施状況について点検、協議し、3年ごとの計画内容見直しを検討する「京丹後市観光立市推進会議」を設置し、「住んでよし、訪れてよし」の魅力ある観光地づくりを推進します。



ボンネットバス事業

■ほんもの体験観光のまち推進事業

【商工費】(拡充) 253万円
(商工観光部 観光振興課)

近年の旅行者ニーズに対応した体験型・滞在型観光を推進するため、「体験型観光推進協議会」を中心とした取り組みとして、特色ある体験メニューの整備および発信、観光まちづくりシンポジウムの開催、体験事業の充実などを図るための施設改修経費を支援します。



琴引浜での鳴き砂保全体験

■世界ジオパークネットワーク加盟推進事業

【商工費】(拡充) 202万円
(商工観光部 観光振興課)

「ジオパーク」とは、科学的に見て特別に重要で貴重な美しい地質遺産を複数含む一種の自然公園です。本市では、久美浜町から丹後町へかけての海岸、網野町郷村断層などが連続性のある地質遺産となっています。このような市内全域にわたる地質遺産を、新たな観光資源とするために、京丹後市ジオパークネットワーク推進会を設立し、世界ジオパークネットワークへの加盟を推進します。



日本ジオパーク認定地域の一部(丹後町立岩)

■観光の魅力づくり推進事業

【商工費】(継続) 3,077万円
(商工観光部 観光振興課)

観光インフラ整備等促進実行調整費基金を活用し、豊富な観光資源を活用した個性ある観光地づくりに寄与する事業を支援します。昨年度に引き続き、小天橋温泉、丹後神野温泉の泉源改修、夕日ヶ浦温泉の配管・配湯事業などの支援を予定しています。また、浜詰海岸清掃用トラクターや丹後町海岸清掃用クローラーの購入補助などを行います。



観光客でにぎわう清潔な小天橋海水浴場

京丹後市でシンポジウムを開催

■自然公園ふれあい全国大会開催事業

【商工費】(新規) 406万円
(商工観光部 観光振興課)

「人と海の息づかいが聞こえる里山ブナ林」をメインテーマにし、人と自然とのふれあいを通じて自然と共生する地域づくりや豊かな自然を次世代に引き継ぐことの重要性を再認識することを目的として、本年9月に開催する「自然公園ふれあい全国大会」を支援します。



自然公園ふれあい全国大会パンフレット

6 京丹後ブランドの販売戦略

京丹後ブランドの発信に向けて

■6次産業創造プロジェクト経費

【農林水産業費】(継続) 163万円
(農林水産環境部 農政課)

本市の第1次産業の復興や活性化を図るため、第2次産業、第3次産業との連携・複合化(6次化)を進めます。料理家や栽培技術有識者、農商工連携研究者、デザイナーなど産業の6次化に関係する専門家を市専門委員(政策企画委員またはプロジェクトチームアドバイザー)として委嘱し、指導や助言を受けながら地場産業の振興を推進します。



京都吉兆徳岡総料理長と漁獲量日本一のサワラで漁業振興策を検討

■京丹後ブランドチャレンジショップ運営事業補助金

【商工費】(継続) 600万円
(商工観光部 観光振興課)

平成19年7月に開設した、丹後地域の特産品ショップ「ホット丹後」(京都市上京区)の運営を支援します。

同ショップでは、地場製品の紹介や販売による消費動向やニーズ調査を行い、生産者のかたに情報をフィードバックすることで商品のブラッシュアップをめざしています。

さらに、1,000人を超える友の会会員もある中で、新規販路開拓をめざす生産者と連携し、商品販売を通じて丹後の魅力PR活動や丹後の魅力体験ツアーなどの誘客活動に取り組み、都市との交流に努めます。



チャレンジショップを通じて丹後の魅力をPR

II 暮らしの中でいのちが輝く
環境循環都市

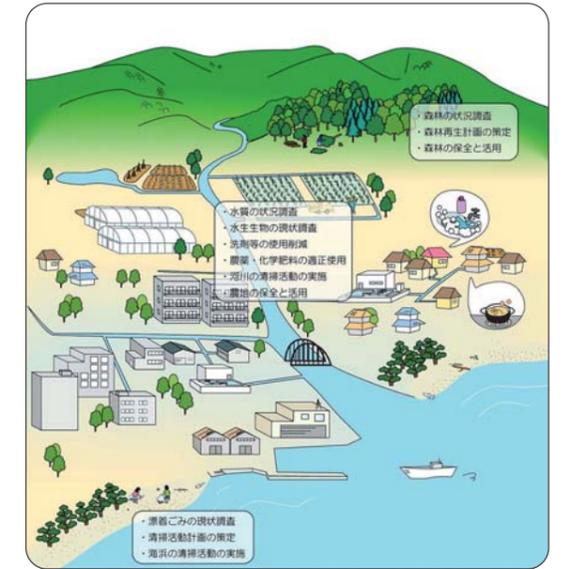
環境先進都市推進プロジェクト構想

1 自然環境の保全と創造
環境保全の組織体制を構築

■環境基本計画推進事業

【衛生費】(新規) 40万円
(農林水産環境部 環境バイオマス推進課)

平成20年度策定の「京丹後市環境基本計画」を推進するための組織体制を構築し、市民・事業者・市民団体・旅行者などのみなさんへの普及・啓発を図るとともに、計画の進捗管理を行います。



斎場建設に向けた基本計画の策定

■斎場建設計画推進事業

【衛生費】(拡充) 336万円
(市民部 市民課)

市の火葬場(竹野川斎場、網野火葬場、久美浜火葬場)の老朽化が著しいため、斎場整備に関する基本的な方針を示すとともに、予定地の選定などを検討する審査会を開催し、新しい斎場建設に係る基本計画を策定します。



久美浜火葬場